

「令和5年度における薬物乱用防止教室開催状況調査」の結果をお知らせするとともに、各地域や学校において、より一層、薬物乱用防止教育の推進についてお願いするものです。

事務連絡

令和6年8月19日

各都道府県・指定都市教育委員会学校保健主管課
各都道府県私立学校主管部課 御中
附属学校を置く各国公立大学法人事務局

文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課

令和5年度における薬物乱用防止教室開催状況調査の結果について

標記調査について、御協力いただきありがとうございました。

このたび、別紙のとおり調査結果を取りまとめ、文部科学省ホームページに掲載しましたので、お知らせします。

今回取りまとめた調査結果によると、薬物乱用防止教室を開催した学校の割合は、83.6%であり、学校段階別の開催状況では、小学校段階で79.4%、中学校段階で90.0%、高等学校段階で87.0%となっており、前年度に比べ増加しています。しかし、自治体別・設置区分別の開催率には、依然として大きな差があります。

小学校、中学校及び高等学校等においては、学習指導要領に基づき、体育科及び保健体育科を中心に薬物乱用防止に関する指導が行われるとともに、薬物等に関する専門知識を有する警察職員、学校薬剤師などを外部講師として活用した薬物乱用防止教室を開催し、薬物乱用防止教育を充実することが、児童生徒に薬物乱用を開始させないために必要です。

政府においては、「第六次薬物乱用防止五か年戦略」（令和5年8月8日薬物乱用対策推進会議決定）に基づき、青少年を中心とした広報・啓発を通じた国民全体の規範意識の向上による薬物乱用未然防止を含め、総合的な対策を講じており、学校における薬物乱用防止教育については、「薬物乱用防止教育の充実について」（令和5年8月9日付け5文科初第947号初等中等教育局長通知）を発出し、青少年の薬物乱用防止に関する一層の指導の徹底をお願いしています。

その中で、薬物乱用防止教室については、学校保健計画に位置付け、すべての中学校及び高等学校において年1回は開催するとともに、地域の実情に応じて小学校においても開催に努めることとしているところです。

しかし、令和5年中の少年の大麻事犯検挙人員は過去最多の1,222人（前年比34.0%増）となるとともに、若年者の一般用医薬品の過量服薬による健康被害が増加するなど、近年の子供を取り巻く薬物乱用に関わる現状は憂慮すべき状況にあります。

このため、文部科学省においては、公益財団法人日本学校保健会を通じて、「薬物乱用防止教室マニュアル」について、こうした子供を取り巻く薬物乱用に関わる現状を踏まえた改訂を行い、「薬物乱用防止教室マニュアルの活用を通じた学校における薬物乱用防止教育の推進について」（令和6年3月27日付け5初健食第22号文部科学省総合教育政策局教育人材政策課長・文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課長通知）を発出し、外部講師と連携して、大麻事犯の増加や市販薬の過量服薬など、地域や学校、児童生徒の実情に応じた課題を取り上げながら、薬物乱用防止教室を開催するようお願いしたところです。

各学校においては、本調査結果を踏まえ、児童生徒が薬物乱用の危険性・有害性を理解し適切に行動できるよう、体育科及び保健体育科を中心とした薬物乱用防止に関する指導の充実や外部講師による薬物乱用防止教室を開催するなど、学校における薬物乱用防止教育の一層の推進に取り組んでくださるようお願いいたします。

（参考）

薬物乱用防止教室開催状況調査

https://www.mext.go.jp/content/20240819-mxt_kenshoku-000031518_01.pdf

本件については、都道府県・指定都市教育委員会におかれては所管の学校及び域内の市区町村教育委員会に対して、都道府県私立学校主管部課におかれては所轄の学校法人等を通じてその設置する学校に対して、国公立大学法人におかれてはその設置する附属学校に対して、それぞれ周知されるようお願いいたします。

（本件担当）

文部科学省初等中等教育局

健康教育・食育課

がん教育推進係

TEL：03-6734-2931（直通）

令和5年度における薬物乱用防止教室開催状況調査

1 調査の目的

文部科学省では、学校における薬物乱用防止教育の充実として、第六次薬物乱用防止五か年戦略（令和5年8月8日薬物乱用対策推進会議決定）において「薬物乱用防止教室は、学校保健計画に位置付け、すべての中学校及び高等学校において年1回は開催するとともに、地域の実情に応じて小学校においても開催に努める。」としていることから、全国での薬物乱用防止教室の開催状況等を把握し、今後の施策の参考とすることを目的に調査を行った。

2 調査対象学校

国公私立の小学校18,633校、中学校9,699校、高等学校4,606校、義務教育学校（前期）204校、義務教育学校（後期）206校、中等教育学校（前期）54校、中等教育学校（後期）53校（回答総数33,455校）

※本調査においては、本校と分校は一つの学校として調査するとともに、特別支援学校、定時制及び通信制は除くこととした。

※義務教育学校は、前期課程を小学校段階、後期課程を中学校段階として調査した。

※中等教育学校は、前期課程を中学校段階、後期課程を高等学校段階として調査した。

3 実施方法

(1) 調査依頼先

各都道府県・指定都市教育委員会学校保健主管課、各都道府県私立学校主管課、附属学校を置く各国公立大学法人事務局

(2) 調査内容

令和5年度における薬物乱用防止教室の開催状況等

4 調査結果

質問1 貴校では、今年度に薬物乱用防止教室を開催しましたか。（予定も含む）

※（ ）内は前回調査（令和4年度）開催率

全区分	調査回答校数	開催校数	開催率
合計	33,455	27,967	83.6% (79.6%)
小学校段階	18,837	14,950	79.4% (75.5%)
小学校	18,633	14,783	79.3% (75.5%)
義務教育学校	204	167	81.9% (75.1%)
中学校段階	9,959	8,962	90.0% (86.0%)
中学校	9,699	8,731	90.0% (86.1%)
義務教育学校	206	190	92.2% (87.2%)
中等教育学校	54	41	75.9% (57.1%)
高等学校段階	4,659	4,055	87.0% (82.5%)
高等学校	4,606	4,012	87.1% (82.6%)
中等教育学校	53	43	81.1% (69.2%)

公立	調査回答校数	開催校数	開催率
合計	31,080	26,604	85.6% (81.9%)
小学校段階	18,541	14,810	79.9% (76.1%)
小学校	18,343	14,646	79.8% (76.1%)
義務教育学校	198	164	82.8% (77.2%)
中学校段階	9,175	8,561	93.3% (89.7%)
中学校	8,941	8,345	93.3% (89.8%)
義務教育学校	199	184	92.5% (89.0%)
中等教育学校	35	32	91.4% (80.0%)
高等学校段階	3,364	3,233	96.1% (93.1%)
高等学校	3,332	3,203	96.1% (93.2%)
中等教育学校	32	30	93.8% (87.9%)

私立	調査回答校数	開催校数	開催率
合計	2,199	1,261	57.3% (49.1%)
小学校段階	223	102	45.7% (42.0%)
小学校	222	101	45.5% (42.2%)
義務教育学校	1	1	100.0% (0.0%)
中学校段階	705	351	49.8% (40.4%)
中学校	689	341	49.5% (40.9%)
義務教育学校	1	1	100.0% (0.0%)
中等教育学校	15	9	60.0% (23.5%)
高等学校段階	1,271	808	63.6% (55.1%)
高等学校	1,254	796	63.5% (55.3%)
中等教育学校	17	12	70.6% (40.0%)

国公立大学附属	調査回答校数	開催校数	開催率
合計	176	102	58.0% (48.6%)
小学校合計	73	38	52.1% (37.5%)
小学校	68	36	52.9% (38.8%)
義務教育学校	5	2	40.0% (20.0%)
中学校合計	79	50	63.3% (56.4%)
中学校	69	45	65.2% (59.4%)
義務教育学校	6	5	83.3% (60.0%)
中等教育学校	4	0	0.0% (0.0%)
高等学校合計	24	14	58.3% (56.5%)
高等学校	20	13	65.0% (63.2%)
中等教育学校	4	1	25.0% (25.0%)

質問2 ①依頼した講師の職種について、次の中から選んでください。(複数回答可)

※()内は割合

職種	小学校段階	中学校段階	高等学校段階	全体
警察職員	4,499 (27.9%)	3,807 (38.4%)	2,107 (48.6%)	10,413 (34.3%)
麻薬取締官	37 (0.2%)	50 (0.5%)	53 (1.2%)	140 (0.5%)
学校薬剤師等薬剤師	6,560 (40.7%)	2,735 (27.6%)	665 (15.3%)	9,960 (32.8%)
学校医等医師	302 (1.9%)	150 (1.5%)	33 (0.8%)	485 (1.6%)
矯正施設職員	41 (0.3%)	112 (1.1%)	136 (3.1%)	289 (1.0%)
保健所職員	506 (3.1%)	286 (2.9%)	115 (2.7%)	907 (3.0%)
精神保健福祉センター職員	32 (0.2%)	31 (0.3%)	18 (0.4%)	81 (0.3%)
税関職員	70 (0.4%)	137 (1.4%)	95 (2.2%)	302 (1.0%)
大学教員等	142 (0.9%)	155 (1.6%)	177 (4.1%)	474 (1.6%)
薬物乱用防止指導員(※1)	897 (5.6%)	543 (5.5%)	156 (3.6%)	1,596 (5.3%)
民間団体等構成員(※2)	1,438 (8.9%)	712 (7.2%)	185 (4.3%)	2,335 (7.7%)
造けいの深い指導的な教員(※3)	646 (4.0%)	502 (5.1%)	225 (5.2%)	1,373 (4.5%)
その他(※4)	966 (6.0%)	705 (7.1%)	368 (8.5%)	2,039 (6.7%)
合計	16,136 (100.0%)	9,925 (100.0%)	4,333 (100.0%)	30,394 (100.0%)

※1 薬物乱用防止指導員…各都道府県に設置された薬物乱用防止のための指導員(保護司、教育関係者等)

※2 民間団体等構成員…ライオンズクラブ等の社会奉仕団体等構成員

※3 造けいの深い指導的な教員…薬物乱用防止教育等に造けいの深い指導的な教員

※4 その他…青少年補導員、社会復帰施設職員、家庭裁判所職員等

質問2 ②実施した時間の教育課程上の扱いについて、次の中から選んでください。(複数回答可)

※()内は割合

教育課程	小学校段階	中学校段階	高等学校段階	全体
体育科・保健体育科	10,003 (64.4%)	2,743 (29.0%)	412 (9.6%)	13,158 (44.9%)
特別活動(学級・ホームルーム活動)	4,130 (26.6%)	2,793 (29.6%)	1,758 (40.8%)	8,681 (29.6%)
特別活動(学校行事)	901 (5.8%)	2,392 (25.3%)	1,934 (44.9%)	5,227 (17.8%)
特別活動(児童・生徒会活動)	37 (0.2%)	57 (0.6%)	13 (0.3%)	107 (0.4%)
その他	465 (3.0%)	1,459 (15.4%)	188 (4.4%)	2,112 (7.2%)
合計	15,536 (100.0%)	9,444 (100.0%)	4,305 (100.0%)	29,285 (100.0%)

質問2 ③薬物乱用防止教室は学校保健計画に位置付けましたか。

※()内は割合

位置付け	小学校段階	中学校段階	高等学校段階	全体
位置付けていた	14,679 (98.2%)	8,823 (98.4%)	3,865 (95.3%)	27,367 (97.9%)
位置付けていない	271 (1.8%)	139 (1.6%)	190 (4.7%)	600 (2.1%)
合計	14,950 (100.0%)	8,962 (100.0%)	4,055 (100.0%)	27,967 (100.0%)

質問3 薬物乱用防止教室を開催しなかった理由はなんですか。(複数回答可)

※()内は割合

理由	小学校段階	中学校段階	高等学校段階	全体
適当な講師がいなかった	508 (11.7%)	96 (8.3%)	53 (7.7%)	657 (10.6%)
講師謝金等の経費が確保できなかった	211 (4.8%)	61 (5.3%)	36 (5.2%)	308 (5.0%)
指導時間が確保できなかった	1,813 (41.6%)	594 (51.5%)	387 (56.2%)	2,794 (45.0%)
その他	1,828 (41.9%)	402 (34.9%)	213 (30.9%)	2,443 (39.4%)
合計	4,360 (100.0%)	1,153 (100.0%)	689 (100.0%)	6,202 (100.0%)

【参考】 令和5年度「薬物乱用防止教室」都道府県別開催率

設置区分：全区分

学校種別：全学校種

(%)

	都道府県名	小学校段階	中学校段階	高等学校段階	合計
1	北海道	65.7	94.7	95.9	79.5
2	青森県	46.2	88.7	90.0	65.9
3	岩手県	93.4	91.9	90.8	92.5
4	宮城県	90.8	85.2	88.9	88.8
5	秋田県	60.0	97.8	100.0	82.2
6	山形県	79.5	91.7	94.9	85.0
7	福島県	65.6	92.4	73.9	75.1
8	茨城県	91.8	98.3	100.0	94.9
9	栃木県	93.0	95.7	88.9	93.2
10	群馬県	71.1	92.0	79.7	78.6
11	埼玉県	98.6	96.8	94.1	97.5
12	千葉県	59.2	74.6	73.5	65.7
13	東京都	96.3	84.4	62.3	87.6
14	神奈川県	55.3	82.7	78.7	66.9
15	新潟県	74.8	91.1	94.9	82.3
16	富山県	67.6	83.3	93.2	75.4
17	石川県	93.6	94.4	92.0	93.6
18	福井県	75.3	93.7	96.6	82.3
19	山梨県	40.4	63.6	84.6	53.0
20	長野県	67.5	82.1	88.0	75.0
21	岐阜県	95.6	98.4	97.5	96.7
22	静岡県	99.0	100.0	100.0	99.4
23	愛知県	78.1	93.8	86.2	83.4
24	三重県	84.6	97.5	91.7	89.1
25	滋賀県	73.3	83.0	80.0	77.0
26	京都府	99.5	99.5	100.0	99.5
27	大阪府	93.2	90.1	93.3	92.3
28	兵庫県	53.2	76.8	82.1	64.3
29	奈良県	59.2	74.1	79.2	66.8
30	和歌山県	68.1	88.6	87.8	76.6
31	鳥取県	71.7	76.7	83.3	74.8
32	島根県	51.3	68.8	80.4	60.2
33	岡山県	66.9	91.5	92.5	76.8
34	広島県	91.0	91.3	88.8	90.8
35	山口県	99.3	100.0	98.5	99.4
36	徳島県	99.4	96.4	96.8	98.2
37	香川県	44.7	76.8	100.0	61.7
38	愛媛県	75.2	95.5	78.7	81.5
39	高知県	54.0	86.7	85.0	68.0
40	福岡県	99.3	97.8	90.0	97.6
41	佐賀県	100.0	95.8	93.2	97.7
42	長崎県	91.6	97.2	96.2	94.0
43	熊本県	97.6	95.3	82.7	95.0
44	大分県	57.4	85.4	76.9	67.9
45	宮崎県	52.2	89.7	79.6	67.7
46	鹿児島県	90.5	97.8	85.4	91.9
47	沖縄県	87.7	91.8	95.2	90.0

※1 所管の学校の数が「0」と報告があったところは「-」としている

※2 都道府県の開催率は、域内の指定都市の開催率を含めて算出した値

【参考】 令和5年度「薬物乱用防止教室」都道府県別開催率

設置区分：全区分

学校種別：中学校段階・高等学校段階

(%)

	都道府県名	中学校段階	高等学校段階	合計
1	北海道	94.7	95.9	95.1
2	青森県	88.7	90.0	89.1
3	岩手県	91.9	90.8	91.5
4	宮城県	85.2	88.9	86.3
5	秋田県	97.8	100.0	98.9
6	山形県	91.7	94.9	92.9
7	福島県	92.4	73.9	87.0
8	茨城県	98.3	100.0	98.9
9	栃木県	95.7	88.9	93.6
10	群馬県	92.0	79.7	88.0
11	埼玉県	96.8	94.1	96.0
12	千葉県	74.6	73.5	74.2
13	東京都	84.4	62.3	77.4
14	神奈川県	82.7	78.7	81.4
15	新潟県	91.1	94.9	92.2
16	富山県	83.3	93.2	86.9
17	石川県	94.4	92.0	93.6
18	福井県	93.7	96.6	94.4
19	山梨県	63.6	84.6	70.1
20	長野県	82.1	88.0	84.1
21	岐阜県	98.4	97.5	98.2
22	静岡県	100.0	100.0	100.0
23	愛知県	93.8	86.2	91.2
24	三重県	97.5	91.7	95.6
25	滋賀県	83.0	80.0	82.0
26	京都府	99.5	100.0	99.7
27	大阪府	90.1	93.3	91.2
28	兵庫県	76.8	82.1	78.6
29	奈良県	74.1	79.2	75.7
30	和歌山県	88.6	87.8	88.4
31	鳥取県	76.7	83.3	78.9
32	島根県	68.8	80.4	72.5
33	岡山県	91.5	92.5	91.8
34	広島県	91.3	88.8	90.5
35	山口県	100.0	98.5	99.5
36	徳島県	96.4	96.8	96.5
37	香川県	76.8	100.0	85.3
38	愛媛県	95.5	78.7	90.2
39	高知県	86.7	85.0	86.2
40	福岡県	97.8	90.0	95.4
41	佐賀県	95.8	93.2	95.0
42	長崎県	97.2	96.2	96.9
43	熊本県	95.3	82.7	91.4
44	大分県	85.4	76.9	82.9
45	宮崎県	89.7	79.6	87.0
46	鹿児島県	97.8	85.4	94.2
47	沖縄県	91.8	95.2	92.9

※1 所管の学校の数が「0」と報告があったところは「-」としている

※2 都道府県の開催率は、域内の指定都市の開催率を含めて算出した値

【参考】 令和5年度「薬物乱用防止教室」都道府県・指定都市別開催率

設置区分：公立

学校種別：全学校種

(%)

	都道府県・指定都市名	小学校段階	中学校段階	高等学校段階	合計
1	北海道	65.4	100.0	100.0	81.7
2	青森県	46.0	89.6	97.7	65.5
3	岩手県	93.3	93.1	100.0	94.1
4	宮城県	93.6	87.6	98.5	92.5
5	秋田県	60.4	97.8	100.0	82.1
6	山形県	79.4	91.6	100.0	85.1
7	福島県	66.2	95.0	83.1	77.1
8	茨城県	91.7	98.7	100.0	94.8
9	栃木県	93.5	96.1	94.8	94.4
10	群馬県	71.5	94.2	83.3	79.8
11	埼玉県	100.0	100.0	100.0	100.0
12	千葉県	60.3	74.4	90.3	67.8
13	東京都	98.7	98.1	94.5	98.2
14	神奈川県	58.9	83.5	99.3	74.3
15	新潟県	74.6	93.6	100.0	83.8
16	富山県	68.4	84.2	97.1	76.0
17	石川県	93.5	96.5	100.0	95.1
18	福井県	76.1	94.6	100.0	83.0
19	山梨県	41.2	65.8	88.9	53.1
20	長野県	67.5	83.1	89.0	75.0
21	岐阜県	95.6	100.0	100.0	97.4
22	静岡県	99.0	100.0	100.0	99.5
23	愛知県	71.2	97.7	95.2	81.2
24	三重県	84.8	100.0	100.0	90.4
25	滋賀県	73.2	83.7	88.6	77.9
26	京都府	100.0	100.0	100.0	100.0
27	大阪府	93.9	95.1	100.0	95.2
28	兵庫県	59.3	87.4	97.8	72.1
29	奈良県	59.0	75.7	87.1	67.1
30	和歌山県	69.0	89.6	93.5	77.4
31	鳥取県	71.4	78.6	95.5	76.1
32	島根県	51.0	68.5	80.6	59.3
33	岡山県	68.1	94.8	96.4	78.4
34	広島県	95.1	94.1	96.3	95.0
35	山口県	99.3	100.0	100.0	99.6
36	徳島県	100.0	97.5	100.0	99.3
37	香川県	44.0	77.8	100.0	59.7
38	愛媛県	75.5	96.9	87.2	82.9
39	高知県	53.8	92.8	100.0	70.5
40	福岡県	100.0	100.0	100.0	100.0
41	佐賀県	100.0	100.0	100.0	100.0
42	長崎県	93.4	100.0	100.0	96.2
43	熊本県	97.5	99.1	94.1	97.5
44	大分県	57.5	87.3	86.8	69.0
45	宮崎県	52.2	95.2	85.7	69.2
46	鹿児島県	91.0	99.5	94.1	93.6
47	沖縄県	88.6	93.6	100.0	91.6

(%)

	都道府県・指定都市名	小学校段階	中学校段階	高等学校段階	合計
48	札幌市	69.0	80.2	88.9	73.3
49	仙台市	89.0	83.1	75.0	86.6
50	さいたま市	91.5	92.9	100.0	92.1
51	千葉市	55.1	100.0	100.0	70.9
52	横浜市	59.3	100.0	100.0	72.2
53	川崎市	53.5	100.0	100.0	69.0
54	相模原市	26.8	86.1	—	46.7
55	新潟市	75.5	86.0	100.0	79.4
56	静岡市	97.6	100.0	100.0	98.4
57	浜松市	100.0	100.0	100.0	100.0
58	名古屋市	97.7	99.1	71.4	97.1
59	京都市	100.0	100.0	100.0	100.0
60	大阪市	91.5	83.7	—	89.1
61	堺市	100.0	97.7	100.0	99.3
62	神戸市	35.6	68.2	62.5	47.3
63	岡山市	63.6	86.8	100.0	70.9
64	広島市	85.1	100.0	100.0	90.1
65	北九州市	100.0	100.0	100.0	100.0
66	福岡市	100.0	100.0	100.0	100.0
67	熊本市	98.9	97.7	66.7	97.8

※1 所管の学校の数が「0」と報告があったところは「—」としている

※2 都道府県の開催率は、域内の指定都市の開催率を除いて算出した値

【参考】 令和5年度「薬物乱用防止教室」都道府県・指定都市別開催率

設置区分：公立

学校種別：中学校段階・高等学校段階

(%)

	都道府県・指定都市名	中学校段階	高等学校段階	合計
1	北海道	100.0	100.0	100.0
2	青森県	89.6	97.7	91.4
3	岩手県	93.1	100.0	95.2
4	宮城県	87.6	98.5	91.3
5	秋田県	97.8	100.0	98.9
6	山形県	91.6	100.0	94.3
7	福島県	95.0	83.1	91.9
8	茨城県	98.7	100.0	99.1
9	栃木県	96.1	94.8	95.7
10	群馬県	94.2	83.3	91.0
11	埼玉県	100.0	100.0	100.0
12	千葉県	74.4	90.3	78.9
13	東京都	98.1	94.5	97.3
14	神奈川県	83.5	99.3	90.4
15	新潟県	93.6	100.0	95.7
16	富山県	84.2	97.1	88.2
17	石川県	96.5	100.0	97.6
18	福井県	94.6	100.0	95.9
19	山梨県	65.8	88.9	71.7
20	長野県	83.1	89.0	84.9
21	岐阜県	100.0	100.0	100.0
22	静岡県	100.0	100.0	100.0
23	愛知県	97.7	95.2	96.9
24	三重県	100.0	100.0	100.0
25	滋賀県	83.7	88.6	85.2
26	京都府	100.0	100.0	100.0
27	大阪府	95.1	100.0	96.9
28	兵庫県	87.4	97.8	91.0
29	奈良県	75.7	87.1	78.4
30	和歌山県	89.6	93.5	90.4
31	鳥取県	78.6	95.5	83.3
32	島根県	68.5	80.6	71.9
33	岡山県	94.8	96.4	95.3
34	広島県	94.1	96.3	94.8
35	山口県	100.0	100.0	100.0
36	徳島県	97.5	100.0	98.2
37	香川県	77.8	100.0	84.9
38	愛媛県	96.9	87.2	94.3
39	高知県	92.8	100.0	94.6
40	福岡県	100.0	100.0	100.0
41	佐賀県	100.0	100.0	100.0
42	長崎県	100.0	100.0	100.0
43	熊本県	99.1	94.1	97.6
44	大分県	87.3	86.8	87.2
45	宮崎県	95.2	85.7	93.2
46	鹿児島県	99.5	94.1	98.2
47	沖縄県	93.6	100.0	95.5

(%)

	都道府県・指定都市名	中学校段階	高等学校段階	合計
48	札幌市	80.2	88.9	80.9
49	仙台市	83.1	75.0	82.6
50	さいたま市	92.9	100.0	93.2
51	千葉市	100.0	100.0	100.0
52	横浜市	100.0	100.0	100.0
53	川崎市	100.0	100.0	100.0
54	相模原市	86.1	—	86.1
55	新潟市	86.0	100.0	86.4
56	静岡市	100.0	100.0	100.0
57	浜松市	100.0	100.0	100.0
58	名古屋市	99.1	71.4	96.0
59	京都市	100.0	100.0	100.0
60	大阪市	83.7	—	83.7
61	堺市	97.7	100.0	97.7
62	神戸市	68.2	62.5	67.7
63	岡山市	86.8	100.0	87.2
64	広島市	100.0	100.0	100.0
65	北九州市	100.0	100.0	100.0
66	福岡市	100.0	100.0	100.0
67	熊本市	97.7	66.7	95.7

※1 所管の学校の数が「0」と報告があったところは「—」としている

※2 都道府県の開催率は、域内の指定都市の開催率を除いて算出した値

【参考】

令和5年度「薬物乱用防止教室」都道府県別開催率

設置区分：公立

学校種別：全学校種

(%)

	都道府県名	小学校段階	中学校段階	高等学校段階	合計
1	北海道	66.1	96.5	99.5	80.2
2	青森県	46.0	89.6	97.7	65.5
3	岩手県	93.3	93.1	100.0	94.1
4	宮城県	92.0	86.1	97.1	90.7
5	秋田県	60.4	97.8	100.0	82.1
6	山形県	79.4	91.6	100.0	85.1
7	福島県	66.2	95.0	83.1	77.1
8	茨城県	91.7	98.7	100.0	94.8
9	栃木県	93.5	96.1	94.8	94.4
10	群馬県	71.5	94.2	83.3	79.8
11	埼玉県	98.9	99.0	100.0	99.0
12	千葉県	59.6	78.3	90.5	68.3
13	東京都	98.7	98.1	94.5	98.2
14	神奈川県	55.6	91.7	99.3	70.8
15	新潟県	74.8	91.7	100.0	82.8
16	富山県	68.4	84.2	97.1	76.0
17	石川県	93.5	96.5	100.0	95.1
18	福井県	76.1	94.6	100.0	83.0
19	山梨県	41.2	65.8	88.9	53.1
20	長野県	67.5	83.1	89.0	75.0
21	岐阜県	95.6	100.0	100.0	97.4
22	静岡県	99.0	100.0	100.0	99.4
23	愛知県	78.4	98.0	93.1	85.2
24	三重県	84.8	100.0	100.0	90.4
25	滋賀県	73.2	83.7	88.6	77.9
26	京都府	100.0	100.0	100.0	100.0
27	大阪府	93.8	92.2	100.0	94.0
28	兵庫県	54.0	82.5	95.8	66.9
29	奈良県	59.0	75.7	87.1	67.1
30	和歌山県	69.0	89.6	93.5	77.4
31	鳥取県	71.4	78.6	95.5	76.1
32	島根県	51.0	68.5	80.6	59.3
33	岡山県	67.0	92.8	96.4	76.7
34	広島県	91.9	95.7	96.6	93.6
35	山口県	99.3	100.0	100.0	99.6
36	徳島県	100.0	97.5	100.0	99.3
37	香川県	44.0	77.8	100.0	59.7
38	愛媛県	75.5	96.9	87.2	82.9
39	高知県	53.8	92.8	100.0	70.5
40	福岡県	100.0	100.0	100.0	100.0
41	佐賀県	100.0	100.0	100.0	100.0
42	長崎県	93.4	100.0	100.0	96.2
43	熊本県	97.9	98.8	92.6	97.6
44	大分県	57.5	87.3	86.8	69.0
45	宮崎県	52.2	95.2	85.7	69.2
46	鹿児島県	91.0	99.5	94.1	93.6
47	沖縄県	88.6	93.6	100.0	91.6

※1 所管の学校の数が「0」と報告があったところは「-」としている

※2 都道府県の開催率は、域内の指定都市の開催率を含めて算出した値

【参考】

令和5年度「薬物乱用防止教室」都道府県別開催率

設置区分：公立

学校種別：中学校段階・高等学校段階

(%)

	都道府県名	中学校段階	高等学校段階	合計
1	北海道	96.5	99.5	97.3
2	青森県	89.6	97.7	91.4
3	岩手県	93.1	100.0	95.2
4	宮城県	86.1	97.1	89.0
5	秋田県	97.8	100.0	98.9
6	山形県	91.6	100.0	94.3
7	福島県	95.0	83.1	91.9
8	茨城県	98.7	100.0	99.1
9	栃木県	96.1	94.8	95.7
10	群馬県	94.2	83.3	91.0
11	埼玉県	99.0	100.0	99.3
12	千葉県	78.3	90.5	81.4
13	東京都	98.1	94.5	97.3
14	神奈川県	91.7	99.3	93.8
15	新潟県	91.7	100.0	93.9
16	富山県	84.2	97.1	88.2
17	石川県	96.5	100.0	97.6
18	福井県	94.6	100.0	95.9
19	山梨県	65.8	88.9	71.7
20	長野県	83.1	89.0	84.9
21	岐阜県	100.0	100.0	100.0
22	静岡県	100.0	100.0	100.0
23	愛知県	98.0	93.1	96.7
24	三重県	100.0	100.0	100.0
25	滋賀県	83.7	88.6	85.2
26	京都府	100.0	100.0	100.0
27	大阪府	92.2	100.0	94.3
28	兵庫県	82.5	95.8	86.5
29	奈良県	75.7	87.1	78.4
30	和歌山県	89.6	93.5	90.4
31	鳥取県	78.6	95.5	83.3
32	島根県	68.5	80.6	71.9
33	岡山県	92.8	96.4	93.8
34	広島県	95.7	96.6	96.0
35	山口県	100.0	100.0	100.0
36	徳島県	97.5	100.0	98.2
37	香川県	77.8	100.0	84.9
38	愛媛県	96.9	87.2	94.3
39	高知県	92.8	100.0	94.6
40	福岡県	100.0	100.0	100.0
41	佐賀県	100.0	100.0	100.0
42	長崎県	100.0	100.0	100.0
43	熊本県	98.8	92.6	97.2
44	大分県	87.3	86.8	87.2
45	宮崎県	95.2	85.7	93.2
46	鹿児島県	99.5	94.1	98.2
47	沖縄県	93.6	100.0	95.5

※1 所管の学校の数が「0」と報告があったところは「-」としている

※2 都道府県の開催率は、域内の指定都市の開催率を含めて算出した値

【参考】 令和5年度「薬物乱用防止教室」都道府県別開催率

設置区分：私立

学校種別：全学校種

(%)

	都道府県名	小学校段階	中学校段階	高等学校段階	合計
1	北海道	0.0	35.7	80.0	65.2
2	青森県	—	66.7	70.6	69.6
3	岩手県	100.0	33.3	46.2	47.1
4	宮城県	16.7	62.5	60.0	52.9
5	秋田県	—	—	100.0	100.0
6	山形県	—	—	78.6	78.6
7	福島県	25.0	37.5	35.3	34.5
8	茨城県	100.0	91.7	100.0	97.8
9	栃木県	0.0	87.5	64.3	69.6
10	群馬県	50.0	33.3	61.5	52.4
11	埼玉県	60.0	67.7	77.1	72.6
12	千葉県	30.0	20.8	34.5	30.3
13	東京都	28.2	23.5	28.3	26.4
14	神奈川県	46.7	21.3	41.7	35.4
15	新潟県	—	33.3	68.8	63.2
16	富山県	0.0	100.0	80.0	75.0
17	石川県	100.0	50.0	55.6	57.1
18	福井県	0.0	75.0	80.0	70.0
19	山梨県	25.0	42.9	81.8	59.1
20	長野県	71.4	72.7	83.3	77.8
21	岐阜県	100.0	66.7	87.5	81.5
22	静岡県	100.0	100.0	100.0	100.0
23	愛知県	25.0	20.0	66.1	52.5
24	三重県	50.0	60.0	68.4	64.5
25	滋賀県	—	85.7	45.5	61.1
26	京都府	100.0	100.0	100.0	100.0
27	大阪府	64.7	73.3	82.5	77.6
28	兵庫県	0.0	31.6	45.1	35.0
29	奈良県	83.3	63.6	70.0	70.3
30	和歌山県	0.0	71.4	70.0	63.2
31	鳥取県	—	33.3	50.0	45.5
32	島根県	—	66.7	80.0	76.9
33	岡山県	75.0	72.7	83.3	79.5
34	広島県	75.0	56.0	68.6	64.7
35	山口県	—	100.0	95.0	96.4
36	徳島県	100.0	100.0	66.7	85.7
37	香川県	—	100.0	100.0	100.0
38	愛媛県	—	50.0	53.8	52.9
39	高知県	50.0	14.3	25.0	23.5
40	福岡県	44.4	70.4	73.3	69.8
41	佐賀県	—	33.3	66.7	53.3
42	長崎県	0.0	58.3	87.0	65.9
43	熊本県	—	37.5	57.1	51.7
44	大分県	0.0	25.0	50.0	42.1
45	宮崎県	0.0	11.1	64.3	41.7
46	鹿児島県	0.0	60.0	57.1	52.9
47	沖縄県	50.0	50.0	40.0	46.7

※1 所管の学校の数が「0」と報告があったところは「—」としている

【参考】 令和5年度「薬物乱用防止教室」都道府県別開催率

設置区分：私立

学校種別：中学校段階・高等学校段階

(%)

	都道府県名	中学校段階	高等学校段階	合計
1	北海道	35.7	80.0	70.3
2	青森県	66.7	70.6	69.6
3	岩手県	33.3	46.2	43.8
4	宮城県	62.5	60.0	60.7
5	秋田県	—	100.0	100.0
6	山形県	—	78.6	78.6
7	福島県	37.5	35.3	36.0
8	茨城県	91.7	100.0	97.4
9	栃木県	87.5	64.3	72.7
10	群馬県	33.3	61.5	52.6
11	埼玉県	67.7	77.1	73.4
12	千葉県	20.8	34.5	30.4
13	東京都	23.5	28.3	26.2
14	神奈川県	21.3	41.7	33.1
15	新潟県	33.3	68.8	63.2
16	富山県	100.0	80.0	81.8
17	石川県	50.0	55.6	53.8
18	福井県	75.0	80.0	77.8
19	山梨県	42.9	81.8	66.7
20	長野県	72.7	83.3	79.3
21	岐阜県	66.7	87.5	80.0
22	静岡県	100.0	100.0	100.0
23	愛知県	20.0	66.1	53.9
24	三重県	60.0	68.4	65.5
25	滋賀県	85.7	45.5	61.1
26	京都府	100.0	100.0	100.0
27	大阪府	73.3	82.5	79.0
28	兵庫県	31.6	45.1	39.3
29	奈良県	63.6	70.0	67.7
30	和歌山県	71.4	70.0	70.6
31	鳥取県	33.3	50.0	45.5
32	島根県	66.7	80.0	76.9
33	岡山県	72.7	83.3	80.0
34	広島県	56.0	68.6	63.3
35	山口県	100.0	95.0	96.4
36	徳島県	100.0	66.7	80.0
37	香川県	100.0	100.0	100.0
38	愛媛県	50.0	53.8	52.9
39	高知県	14.3	25.0	20.0
40	福岡県	70.4	73.3	72.4
41	佐賀県	33.3	66.7	53.3
42	長崎県	58.3	87.0	77.1
43	熊本県	37.5	57.1	51.7
44	大分県	25.0	50.0	44.4
45	宮崎県	11.1	64.3	43.5
46	鹿児島県	60.0	57.1	58.1
47	沖縄県	50.0	40.0	45.5

※1 所管の学校の数が「0」と報告があったところは「-」としている

【参考】

令和5年度「薬物乱用防止教室」都道府県別開催率

設置区分：国公立大学附属

学校種別：全学校種

(%)

	都道府県名	小学校段階	中学校段階	高等学校段階	合計
1	北海道	50.0	50.0	—	50.0
2	青森県	100.0	100.0	—	100.0
3	岩手県	100.0	100.0	—	100.0
4	宮城県	100.0	100.0	—	100.0
5	秋田県	0.0	100.0	—	50.0
6	山形県	100.0	100.0	—	100.0
7	福島県	0.0	0.0	—	0.0
8	茨城県	100.0	100.0	—	100.0
9	栃木県	0.0	100.0	—	50.0
10	群馬県	0.0	100.0	—	50.0
11	埼玉県	100.0	100.0	100.0	100.0
12	千葉県	100.0	0.0	—	50.0
13	東京都	16.7	25.0	37.5	27.3
14	神奈川県	50.0	100.0	—	75.0
15	新潟県	66.7	100.0	—	83.3
16	富山県	0.0	0.0	—	0.0
17	石川県	100.0	100.0	100.0	100.0
18	福井県	0.0	100.0	—	50.0
19	山梨県	0.0	50.0	0.0	20.0
20	長野県	50.0	50.0	—	50.0
21	岐阜県	100.0	100.0	—	100.0
22	静岡県	100.0	100.0	—	100.0
23	愛知県	0.0	0.0	100.0	28.6
24	三重県	100.0	100.0	—	100.0
25	滋賀県	100.0	0.0	—	50.0
26	京都府	0.0	50.0	100.0	40.0
27	大阪府	66.7	100.0	66.7	77.8
28	兵庫県	50.0	0.0	50.0	28.6
29	奈良県	0.0	50.0	50.0	33.3
30	和歌山県	0.0	100.0	—	50.0
31	鳥取県	100.0	100.0	—	100.0
32	島根県	100.0	100.0	—	100.0
33	岡山県	0.0	100.0	—	50.0
34	広島県	0.0	50.0	100.0	44.4
35	山口県	100.0	100.0	—	100.0
36	徳島県	0.0	0.0	—	0.0
37	香川県	100.0	0.0	—	50.0
38	愛媛県	0.0	100.0	0.0	33.3
39	高知県	100.0	0.0	—	50.0
40	福岡県	100.0	100.0	—	100.0
41	佐賀県	100.0	100.0	—	100.0
42	長崎県	100.0	100.0	—	100.0
43	熊本県	0.0	0.0	—	0.0
44	大分県	100.0	100.0	—	100.0
45	宮崎県	100.0	100.0	—	100.0
46	鹿児島県	100.0	100.0	—	100.0
47	沖縄県	0.0	100.0	—	50.0

※1 所管の学校の数が「0」と報告があったところは「—」としている

【参考】 令和5年度「薬物乱用防止教室」都道府県別開催率

設置区分：国公立大学附属

学校種別：中学校段階・高等学校段階

(%)

	都道府県名	中学校段階	高等学校段階	合計
1	北海道	50.0	—	50.0
2	青森県	100.0	—	100.0
3	岩手県	100.0	—	100.0
4	宮城県	100.0	—	100.0
5	秋田県	100.0	—	100.0
6	山形県	100.0	—	100.0
7	福島県	0.0	—	0.0
8	茨城県	100.0	—	100.0
9	栃木県	100.0	—	100.0
10	群馬県	100.0	—	100.0
11	埼玉県	100.0	100.0	100.0
12	千葉県	0.0	—	0.0
13	東京都	25.0	37.5	31.3
14	神奈川県	100.0	—	100.0
15	新潟県	100.0	—	100.0
16	富山県	0.0	—	0.0
17	石川県	100.0	100.0	100.0
18	福井県	100.0	—	100.0
19	山梨県	50.0	0.0	33.3
20	長野県	50.0	—	50.0
21	岐阜県	100.0	—	100.0
22	静岡県	100.0	—	100.0
23	愛知県	0.0	100.0	40.0
24	三重県	100.0	—	100.0
25	滋賀県	0.0	—	0.0
26	京都府	50.0	100.0	66.7
27	大阪府	100.0	66.7	83.3
28	兵庫県	0.0	50.0	20.0
29	奈良県	50.0	50.0	50.0
30	和歌山県	100.0	—	100.0
31	鳥取県	100.0	—	100.0
32	島根県	100.0	—	100.0
33	岡山県	100.0	—	100.0
34	広島県	50.0	100.0	66.7
35	山口県	100.0	—	100.0
36	徳島県	0.0	—	0.0
37	香川県	0.0	—	0.0
38	愛媛県	100.0	0.0	50.0
39	高知県	0.0	—	0.0
40	福岡県	100.0	—	100.0
41	佐賀県	100.0	—	100.0
42	長崎県	100.0	—	100.0
43	熊本県	0.0	—	0.0
44	大分県	100.0	—	100.0
45	宮崎県	100.0	—	100.0
46	鹿児島県	100.0	—	100.0
47	沖縄県	100.0	—	100.0

※1 所管の学校の数が「0」と報告があったところは「—」としている